

令和3年1月28日

独立行政法人福祉医療機構

NPO リソースセンター長 川森 大輔

NPO 振興課長 吉野 勇氣

(電話) 03-3438-9942 (FAX) 03-3438-0218



## 社会福祉振興助成事業（WAM 助成）事業評価報告書について

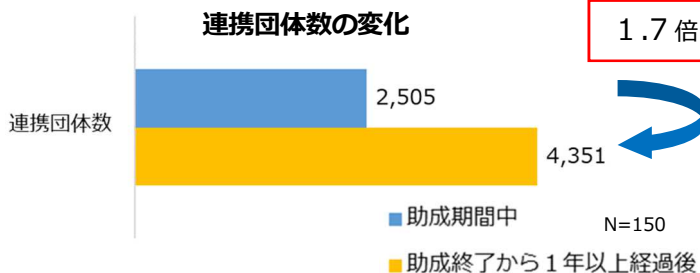
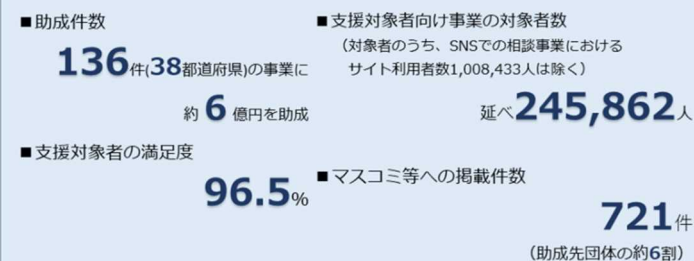
独立行政法人福祉医療機構（以下、WAM）では、福祉制度の狭間に対応する NPO 団体などの民間福祉活動を助成金で支援する社会福祉振興助成事業（以下、WAM 助成）を行っています。また、WAM 助成は、事業評価に取り組むことで、事業の改善や優良事例の普及を図って参りました。

今般、令和2年度に実施した助成事業の評価について、審査・評価委員会において「事業評価報告書」が取りまとめられましたので、公表いたします。

### 1 WAM助成の実績及び評価の概要

- 令和元年度は 136 件の事業に助成し対象者延べ 24 万 5,862 人に支援が届きました。事業評価の結果、5 件が「特に優れた助成事業」（次頁に掲載）として評価されました。
- 平成 30 年度事業 160 団体を対象にしたフォローアップ調査では、助成期間終了後も約 9 割の事業が継続され、連携団体数は平均 1.7 倍に増加していることが確認されました。

#### 【令和元年度WAM助成実績】



#### 【事業評価報告書 目次】

1. はじめに (P1)
2. WAM 助成の概要 (P2)
3. WAM 助成の事業評価 (P4)
4. 令和元年度助成実績 (P5)
5. 特に優れた事例紹介 (P7)
6. フォローアップ調査結果 (P12)
7. 制度の狭間にある課題に取り組む民間団体の声 (P14)
8. 令和元年度事業を振り返って (P17)
9. 地域共生社会の実現に向けて取り組んだ成果事例の紹介 (P18)
10. 今後のWAM 助成の充実に向けて (P22)
11. (参考) 令和3年度 募集要領(案) (P24)
12. (参考) 令和元年度 助成事業一覧 (P26)

事業評価報告書は、WAMホームページに掲載しています。『WAM助成 事業評価報告書』で検索  
URL ([https://www.wam.go.jp/hp/guide-jyosei-project-tabid-179-2/guide-jyosei-project-value\\_report-tabid-180/](https://www.wam.go.jp/hp/guide-jyosei-project-tabid-179-2/guide-jyosei-project-value_report-tabid-180/))



## 2 特に優れていると評価された事業について

令和元年度 WAM 助成の事業評価において、「特に優れている」と評価された事業は、以下の 5 事例です。WAM ホームページに事例の詳細を掲載しています。

団体名・事業名	事業概要
1. 特定非営利活動法人 <b>在日ブラジル人を支援する会（サビジャ）</b> <東京都> 「在日ブラジル人のこころの健康および教育支援事業」	在日ブラジル人および子弟が地域社会と良好な関係を築くため、ポルトガル語による心理相談や教育サポートを実施。さらに在日ブラジル人の集住地域がある自治体で医療相談、法律相談等のワークショップを開催した事業
2. 一般社団法人 <b>ひとり親家庭福祉会ながさき</b> <長崎県> 「フードバンクシステムによる、ひとり親家庭生活困窮世帯への『宅（食）所』『健康』『相談』総合支援事業」	ボイスレス（SOS が出せない）の家庭への食材提供とともに、企業・病院・行政等と連携して総合支援のシステムを構築し、専門家による相談機能を持ち合わせた居場所づくりに取り組んだ事業
3. 認定 NPO 法人 <b>ReBit</b> <東京都> 「全国で『地域リーダー』としての LGBT 若手研修講師育成モデル事業」	LGBT の子ども達が健やかに安心して成長できることを目的に、「地域の課題を解決する、地域のリーダー」としての研修講師の育成および地域への定着を支援する事業
4. 認定 NPO 法人 <b>アール・ド・ヴィーヴル</b> <神奈川県> 「重度障害者のための創作活動と地域支援者育成事業」	重度障害のある方が自己表現を通じて社会とのつながりをつくることを目的に、アートワークショップを開催。障害者支援施設等へのアウトリーチの手法を用いたワークショップの企画、作品の展覧会の開催等を実施した事業
5. 特定非営利活動法人 <b>ハーフタイム</b> <東京都> 「生きづらさを抱えた子どもたちへの多機関団体連携型寄り添い支援事業」	生きづらさを抱えた子どもたちが「自立する力」を身につけられることを目的に、拠点型および個別対応型で一貫した包括的・長期的な寄り添い支援を実施。また支援体制の充実を目指し、団体の運営基盤体制の強化を行った事業

## 3 地域共生社会の実現に向けて

WAM 助成を活用し、行政や関係機関と連携を密にして、個別のニーズに対応した取り組みが施策化に至り、地域共生社会の実現に寄与した 2 事例を紹介しています。

団体名	制度化の内容
1. 一般社団法人 <b>ひとり親家庭福祉会ながさき</b> <長崎県>	「つなぐ BANK」のシステムが長崎県の子どもの貧困総合事業となった他、「長崎県子どもの貧困総合窓口」が設置され「つなぐ BANK」と連携した委託事業として事業化
2. 特定非営利活動法人 <b>まんまるママいわて</b> <岩手県>	花巻市での産前産後ケア事業、産前産後サポート事業を受託（2017 年度）その後、釜石市や北上市、大槌町から産前産後サポート事業等を受託（2018～20 年度）

事業評価報告書は、WAM ホームページに掲載しています。『WAM 助成 事業評価報告書』で検索

URL ([https://www.wam.go.jp/hp/guide-jyosei-project-tabid-179-2/guide-jyosei-project-value\\_report-tabid-180/](https://www.wam.go.jp/hp/guide-jyosei-project-tabid-179-2/guide-jyosei-project-value_report-tabid-180/))

